

## 長屋談義 世界はどう動くのか、日本はどこへ

クマさん「ちは～、ご隠居さんはいるかね。またまた聞いて～ことがあってきたんだがね～」

ご隠居「ああ、よく来たね～、まあ新緑の初夏だ。のんびりしていきなさいよ。新茶でも入れるからね。」

クマさん「あっしはお茶よりオチャケがいいんだがね～、まあそうも言っちゃあいられね～、それよりそのうちいっぺいやりましょうや。」

ご隠居「それも悪くないね。ところで今日はどんな話できたんだね。」

クマさん「そうそう、忘れるところだった。この前に世界中の金融がだいぶ厳しいって話を聞いたんで仲間にも話したんだが、どうもうまく伝わらね～んだ。もういけど世界がどんな風になっているのかそのへんを教わりて～な、と思ってね。」

ご隠居「世界がどうなっているか、私だってもっと知りたいと思うね。おかげで近頃寝不足気味だ。だけどまあ最近の動きの話などをまとめてみようかな。」

クマさん「ありがとうさんで、そうこなくっちゃあ。だけどかいつまんで頼みませ。」

ご隠居「世界の動きを話をするにはやはりアメリカがどう動いてきたか、整理して話をすると、大戦終了後のアイゼンハワー大統領がやめるときに軍産複合体の危険性を言い残しているんだが、その後の世界の動きはこれが現在まで世界中の戦争や紛争の原因だと言っても差し支えはないだろう。この産軍複合体は、軍部の好戦派、軍事産業、国際金融資本家、諜報機関、マスコミ、学者などに加えてイギリスやイスラエルの策謀家もあったんだ。」

クマさん「それは前にも少しは聞いたな。それでどんなことをやって来たんだ。」

ご隠居「たとえば大戦終了後は、イギリスはアメリカの力が大きくなることを見越して裏から操作して行ったんだ。たとえばソ連を鉄のカーテンと称して仮想敵国に仕上げ、冷戦構造を作りだし英国の権益を守ろうとしたんだ。軍産複合体も一定の緊張があることによって軍事予算の削減阻止、金融資本はドル支配体制づくりを目指し、日本を事実上の従属国化させ、対ソ連政策上中国を支援し、中東を分割統治して石油支配によりペトロマネー体制を築いてきたんだ。」

クマさん「ペトロマネーってなんだっけ。」

ご隠居「世界中の原油取引をドルで行わせることによって世界中にドルをばらまき、そのドルで軍備を買わせたり、米国債を買わせたりして世界を経済的にも支配してきたんだ。」

クマさん「だけど冷戦ではソ連は自滅してしまったんじゃないか。」

ご隠居「いやその前に軍産複合体はソ連に対して核爆撃で壊滅させようと計画したんだ。さすが政府内部の反対やソ連もフルシチョフがキューバーに核弾頭を運んで牽制したんだ。」

クマさん「それでケネディ大統領がやめさせたわけかア。」

ご隠居「まあ、そういうことだ。だがケネディは軍産複合支配をやめさせようとして FRB 連邦準備制度(国際金融資本によって作られたドル発行権を有する民間銀行)の解体を進めようとしたため暗殺されてしまったんだ。これはいまだ公には解明されていないが軍産複合体の意向であったことは間違いない。」

クマさん「それでもソ連は自滅してアメリカ極覇権体制になったんだろう。」

ご隠居「ソ連は基本的には経済的に行き詰ったんだが、きっかけは CIA の挑発でアフガニスタンの紛争へ介入して、アメリカ側の支援による反ソゲリラによって泥沼化し、多数のロシア兵が死んでソ連指導部の権威も後退したんだ。アメリカは NATO の拡大、EU や日本の従属強化と中国支援を続けるとともにベトナム戦争、南米での反米政権へのクーデターを企てたり、中近東での紛争に介入し緊張を作ってきたんだ。」

クマさん「つまり、あちらこちらで緊張があれば軍事介入や武器の販売ができるからだろう。」

ご隠居「そうだ、さすがクマさん、察しが早い。だがベトナム戦争に深入りしすぎて政治的、財政的に大きな傷を負ってしまったし、南米でもうまくいかず反米政権が増えてしまったんだ。」

クマさん「それで中近東へ力が入っていったんだな。」

ご隠居「まあ、そういった面もあるだろうな。特にアメリカはイスラエルの影響が強く海外軍事援助費の大半はイスラエルだ。これによりエジプトとの戦争にも勝ってパレスチナを占領し、アラブ諸国との対立が強まったし、イランを核兵器を使ってつぶせとアメリカに迫ったことも事実だ。アメリカもイランがウラン濃縮を進めることに対して制裁を加えてきたんだが、オバマはイスラエルの要求を拒否して事実上容認して和解を進めたんだ。」

クマさん「なぜ、オバマはイランと和解したのかね。」

ご隠居「イラクのフセイン大統領が原油ドル決済をユーロ決済に切り替えたためアメリカはドル支配確保のため9・11テロなどを口実にイラク、アフガニスタンに侵攻した。さらにチェチェンやグルジョアやウクライナへ紛争を仕掛けてロシアの権益を横領しようとしたが結果はすべて失敗している。だからオバマは軍産複合体の失敗を是正するため中東からの後退を容認する方針を明確にしてイランと和解しているんだ。」

クマさん「だけど紛争を仕掛けたのは軍産複合体なんだろう。オバマが邪魔をするようならオバマ暗殺の危険もあるんだろう。」

ご隠居「そのとおりだよ。歴代大統領がいいなりになってきたのをオバマ一人で阻止できるわけがない。ある識者が書いているがオバマは軍産複合体が自己の政府内に存在している以上、これらに策謀をやらせておいて失敗すればこれを切る形で軍産複合体の力を削いできた、というんだ。」

クマさん「え～、そりゃあ毒をもって毒を制するってやつか～。おもしれ～なあ～、ホントにそうならオバマってやつは大したもんだなあ～、あっしはてっきりオバマなんてなんであんなにへっぴり腰なんだろうってやきもきしていたんだぞ～」

ご隠居「その気持ちは私もわかるよ。だからこの話を讀んだとき臥薪嘗胆でオバマ大統領も苦勞をしてるんだなあって思ったね。私だっていままでクマさんが言ったような思いもあったからな。だけど考えてみればネオコン(極右)であるヌーランド副国務次官あたりがネオナチに資金、武器を与えて策動した最近のウクライナクーデターだって、いまやクーデター政権が支離滅裂だ。EUもアメリカに表では追随、裏では手を引いている。シリアもそうだ。G8 のサミットでは反政府勢力を弾圧するシリア政府へ爆撃すると言っておいて、イギリスが日和った途端に腰砕けとなっている。軍産複合体の CIA あたりがトルコやサウジをけしにかけて支援育成した IS イスラム国がテロを行うと表では自分たちもイスラム国を爆撃せざるを得なくなってしまった。」

クマさん「それじゃあ、アメリカはマッチポンプじゃあねーか。」

ご隠居「まあ、そうともいえるね～、どこの国も一枚岩ではない。面従腹背で動いたり、横を向いたり、隠れて好き勝手をやる人間がいっぱいいるんだ。ましてや軍産複合体は権力を持つ人間集団や金融を牛耳る国際金融資本家をバックにしているから縦横の力も強い。だから大統領だっただけの意向を無視するわけにはいかない。」

クマさん「そうするって～と、これからの世界や日本はどうなるんだろね～」

ご隠居「さっき言ったようにオバマは中近東から後退することはすでに意向は明らかだ。これは対談集『オバマ・ドクトリン』でも書かれているんだ。だから中近東はイラン、イラク、エジプト、シリア、ヨルダンなどを主軸にしてロシアの影響は強くなるだろう。原油価格はロシア・イランがすでにドル決済をやめており、サウジアラビアも財政ピンチにならざるを得なくなる。イスラエルもアラブ諸国と敵対を続けると国の存続が危うくなるから協調的にならざるを得なくなるだろう。」

クマさん「ロシアと対立していたトルコはどうなるんだろう。」

ご隠居「以前のトルコは軍部を中心に世俗主義だったが、いまのエルドアン大統領は時流に乗りイスラムを基盤に選挙で出てきたがアメリカの尻馬に乗ってイスラム国を支援し、見返りにイスラム国からの密輸の原油を仕入れて莫大な資金を手にしてきたんだ。それをロシアの爆撃により石油施設やトラックを破壊されたため、こんどはEUに対して難民を引き受けるからゼニをよこせ、と恐喝している。批判的な軍部幹部やマスコミを逮捕抑圧しているが軍部や市民の批判も強くなって居り、側近の首相も辞任している。いずれ失脚の憂き目を見るだろうね。」

クマさん「そうなるとアメリカが中近東から手を引いてしまえば、テロとの戦いはどうなるんで。」

ご隠居「アフガニスタンのタリバンももともと反ソ連ゲリラをアメリカが養成したんだ。アルカイダもそうだ。安定していたリビアやチュニジアでの混乱もアメリカがゲリラを支援して民主化を旗印にしてカダフィを倒したんだが、結果的には国内は混乱状態でイスラム国の同類が横行し、難民がEUへ押し寄せている。どこの紛争も軍産複合体の仕業だ。」

クマさん「中国も勝手にやっている様だがこれもその軍産ってやつ陰謀かね。」

ご隠居「国際金融資本にとって国境は邪魔なんだ。どこでも好き勝手にビジネスをやれるほうがいい。だからグローバル主義を強調しているんだ。アメリカの金融資本家にすれば人件費の安い中国で組み立て生産させて世界中へ販売するほうが国内で生産するより利益が上がる。パソコンなど8割は中国製だ。その分米国内での雇用は減り、正規労働者がいなくなり、下層階層が増大しているんだ。それでも自分たちをさておいて日中間でうまくいきすぎると困るし、適度な対立状態の方が望ましいので、歴史問題や尖閣列島の帰属問題ではあいまいな態度を示して裏では日中対立を煽っているんだ。」

クマさん「え～、いって～どういうことなんだね。」

ご隠居「たとえば尖閣列島の帰属は両方で話し合え。しかし紛争が起こったら日米安保条約で日本を支援するよ、なんて言っている。はっきり尖閣列島は沖縄である、と一言いえば済む。韓国に対してもそうだ。慰安婦問題など問題の所在は明確だ。それを性奴隷なんて米議会で決議して結果的に日本を貶める側に立ってきたが最近では韓国に手を焼いて日本側に肩を入れている。」

クマさん「なんだ、アメリカも頼りにならね～んだな。これからどうなるんだろうね～」

ご隠居「アメリカの基本戦略は米中戦争は起こさない方針だ。実際、日中が本当に紛争になってしまった場合も、近くまでは空母を派遣するなどはしてもそれは両方への牽制のためで自分たちは和解のために来たんだ位の感じだろうな。だが中国が軍事力を強化していることをきかなくなってきたため、対中国政策を修正せざるを得なくなっている。本来、国際金融家はドル体制を補完するため BRICS を支援するつもりでいたようだがロスチャイルドなど金融資本も中国から手を引いてしまった。そこで中国は自立を強めつつある EU やイギリス、ロシアとの連携を強めて生き抜こうとしているんだ。それが『一帯一路』構想や AIIB(アジアインフラ投資銀行)だ。だけどそのイギリスも経済不振で習近平に女王の頭を下げさせて金をくれ、原発を作ってくれと頼まされている。」

クマさん「なんだ、情けね～話だなあ。」

ご隠居「ドイツも政府は無借金の模範生だと思われていたが、ドイツ銀行にすべてつけ回しで日本政府が国民に借りているよりとんでもない借金を抱えているんだ。アメリカも軍産複合体が好き勝手にやって来たツケが財政赤字、国際収支赤字、民間金融赤字の三重苦なんだ。そこでドル世界体制も EU のユーロ体制、ロシア・中国の新通貨体制、ペトロマネーの崩壊などドル体制とアメリカ一極覇権体制の崩壊の危機に立っているんだ。」

クマさん「ふ～ん、それじゃあ、軍産複合体は黙って見ちゃあいられね～だろうが、」

ご隠居「そこで出てきたのが TPP だ。TPP はシンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランドの4国が始めたんだが経済的には大きなものではなかった。そこに目をつけたのが国際金融資本家だ。彼らに雇われた大勢の法律家たちが寄ってたかって当初の計画とは異なる国境を越えた経済圏作りとしてしまった。つまり欧州の連合体である EU のようなものを作ろう、そして貿易の自由化と称してアメリカの保険制度、寡占農業、金融制度、特許制度などグローバリストの都合のいいような制度とし、発足したら FRB と同じように個々の国家

が干渉できなくなるようなシステムにしてしまうことだ。」

クマさん「え～それじゃあ、日本に都合が悪いことが起きても文句は言えない、簡単に脱退もできないってことかい。」

ご隠居「どうもそのようなんだ。日本政府は農家の被害を救うため補助金を増やすとか、日本の製品が売れて利益が増大するとか宣伝するが、アメリカの医療制度が入ったら今のような診療は受けられなくなる、種を買ったらその収穫した種では蒔いても芽が出ないため毎年米国産の種を買う、大企業はメキシコとか進出できるが中小企業や一般国民は悲惨な奴隷となるような制度になるようだ。私もびっくりしているんだ。」

クマさん「そんな制度を政府は国会で議決しようとしている様だが、大変なことだなあ～、ちっとも知らなかったぞ～。」

ご隠居「私だって、TPP は多少問題があっても中国を孤立させて覇権を目指すなんて野望を抑制できればいいなあ、なんて考えていたことがあったからなあ。だけど TPP の狙いはそれ以外あるんだが、本当の目標は崩壊しつつある FRB のドル体制に対して新しい通貨を EU のユーロのように共通通貨を作ることと考えて居る様なんだ。」

クマさん「え～、あつらも円を使うんでなく、日本のお金がなくなってしまうんかい。それじゃあ、国としての独立性がなくなってしまうんじゃあね～か。もうどうにもならね～んか。」

ご隠居「いまの自民党の国会議員の人たちも政府の説明や宣伝を越えてわかっている人は少ないようだ。野党ももちろん情報が少ない。これが可決してしまつたらいよいよ国際金融資本の思うままだ。」

クマさん「そりゃあ、大変だあ。なんとかならね～か。」

ご隠居「私が期待しているのはアメリカの大統領選挙だ。どの候補もみんな TPP には反対している。クリントンはウォール街から1社で20億円くらいの巨額な献金を受けており軍産複合体に近いため本心は賛成だが、支持母体の民主党が反対なので反対を表明している。クリントンが大統領となったら選挙中の発言を翻して、日本と再交渉してアメリカ人の雇用を守ったから TPP を進める、といったやり方を取る可能性があると思うね。彼女は表向き民主制を強調するが国務長官時代にアラブに対してはアラブ独特の政体でうまくいっていたのにリビアなど片っ端からクーデターを起こさせてそれらの国をめちゃくちゃにした人だ。例のメール事件では国家機密漏えい罪で FBI に逮捕さ

れるという説もあるんだ。」

クマさん「全部の大統領候補が TPP 反対ならのぞみがあるってわけか。」

ご隠居「民主党だけでなく共和党も反対だから議会で批准も難しいだろうね。ただアメリカの議員は、カネをもらって動くし、それを仕掛けるロビーイストも軍産複合体の意向で動くだろうね。だがこんどの予備選挙でもトランプとか民主党のサンダース候補が健闘しているのは、他の候補が軍産複合体の支援を受けていることに強い不満があるからトランプらの支援が増えている。これが今後のアメリカの政治を大きく動かす力になるだろうね。私もトランプが勝つのではないかと思っているんだ。」

クマさん「それじゃあ、日本はどうなるんで。どうしたらいいんだろうなア。」

ご隠居「日本がどうなるかは、世界がどうなるかを押さえる必要がある。戦後のアメリカ極覇権体制が後退し、欧米の EU ユーロ圏、中近東でのアメリカの後退とロシアの影響力の拡大、東アジアにおける中国の突出などがあり、アメリカは世界 GDP1、3位の米日をはじめ南米を含む環太平洋アジア地区での覇権の確立を目指している。」

クマさん「もうすこし具体的に言うかどうかだね。」

ご隠居「安倍首相は沖縄の辺野古基地建設について裁判所の勧告により沖縄県と和解しただろう。相変わらず辺野古基地建設は変わらないなどと言っているがこれは建前で本音ではないと思うね。つまりこの和解は米軍側の意向があると思うな。米軍は90年代に普天間の海兵隊をグアムへ移転させる計画を立てて進めてきている。日本の外務省はこれを引き留めるために移転は司令部だけ、とか思いやり予算でグアム基地建設費もかなりの負担をして、残る部隊（実質的には2000人位を外務省は1万人と称している。）を辺野古基地造成で移転のため建設促進を図ってきたんだ。民主党政権時の鳩山首相はグアム移転を促進させるため外務省の反対を押し切って、基本は県外などと言っていたが官僚の抵抗や自民党の反対のため断念させられた。その自民も辺野古移転はメガロフロート方式にすれば容易にできたのに埋め立てでないと地元土建業にお金が落ちないからと反対し、いまでも反対運動で苦労しているのは皮肉なもんだ。米軍の主力はグアム移転で進んでいるが日本側の資金提供もあり、辺野古移転に同意してきたんだが最近の中国の中長距離ミサイルなど軍備拡張が抜き差しならない所まで来ており、しかも南沙諸島などの紛争地域の防衛も視野に入れると、グアム基地を基本に中国が言う第二列島線以東（日本の太平洋側、グアム、フィリピン以東）を根拠地にする考えだ。そし

て尖閣列島を含む沖縄、フィリピンの西、インドネシアまでの第一列島線以東を日本を中心にアジア安保体制で防衛するという考えだ。」

クマさん「すると、日本は第一と第二列島線の中を自分で守れって言うのかね。」

ご隠居「察しがいいね。そういうことだ。だから日本はそろそろ辺野古にこだわらないで、自主防衛の道を考えろ、ていうことだ。安倍首相も政権を維持して改憲、自主防衛体制づくりを考えており、これまでの経緯があり自分から辺野古断念を言うわけにはいかないから、裁判所の勧告を好機とばかりにそれに乗ったんだと思うね。世界一危険な基地と言われる普天間基地が海兵隊のグアム移転により全面移転となれば沖縄県民も全国民も喜ぶだろう。中国が本気で尖閣列島を奪取しようとして来るとは思わないが、自民党政府はそれを強調するだろうね。アメリカの本音は日本に南シナ海の監視も任せたいんだ。だからオーストラリアが潜水艦12隻建造したいとの計画に対して日本政府を煽って日本が世界に誇ると言うそうりゅう型潜水艦の受注を独仏を相手に入札競争をさせたんだ。」

クマさん「だけど入札では負けちゃったんじゃないか。」

ご隠居「すでにドイツは中国に技術を盗まれる可能性があるからアメリカの装備技術をドイツには渡さないということで事実上脱落させている。そして日本の技術を導入すれば対中でも優位になると言って豪政権に圧力を加えた。だけどオーストラリアの経済は中国が大きな比重を占めてきたし、ターンブル首相の息子の嫁さんは中国国営企業の幹部の娘さんで息子は親中派だ。」

クマさん「日本のそうりゅうの技術は TV でもやっていたけど、音も静かで20日も潜ったまんまでもいいそうだ。だから中国の潜水艦なんかいつでもやっつけられるし、あんな人工島を作ったっていざと言う時には何の役にも立たね～って言うていたぞ。」

ご隠居「確かにそうした側面もある。問題は日豪米で秘密技術の共有の形で実質的な軍事同盟化を図ることだったんだが中国の外交交渉に負けたんだな。得意の買収工作もあったようだ。」

クマさん「う～ん、そこまで言われちゃあ、日本の技術はすごいことだぞ、なんて威張っているわけにやいかね～なア」

ご隠居「米軍と安倍首相の意図は日豪の軍事的連携の強化だが、日本は専守防衛と云う事では憲法解釈でおおむねの合意はあるが、集団自衛権のような形では問題が残る。だから安倍首相としては改憲をしたいし、そのための議論を



呼びかけているんだ。しかし、大半の国民は戦争の悲惨さをよく知っているし、また海外派兵には抵抗があり改憲には慎重な意見が過半数を越えている。これが今の日本の一番対立する所だ。私の心配するのは日本人はいったん部分でも改正するとイケイケどんどんで留まることを知らないところだ。」

クマさん「ありゃ、あっしだってそうだなあ。それでどうすりゃあいいんだろうね。」

ご隠居「私はまず現憲法で容認される専守防衛についてもう一度その在り方を議論すべきだと思うね。以前も紹介したから簡単に言うけど、日本は得意な技術開発に専念してあらゆる兵器を無害化させてしまうことだ。たとえばすでにアメリカで実用化させている半導体レーザー砲を改良強化してミサイル、攻撃機、軍艦などを光の速さで無力化させてしまう装置を日本中に配置することだ。1機何千億円なんていう戦闘機だけでなく1発100円程度のレーザー砲はコストも安い。どんなミサイルのスピードよりも光の方が早い。」

クマさん「なるほどね～そんな技術がもう開発されているんだ。なにか映画やアニメーションで“スターウォーズ”みたいなものなのかあ。」

ご隠居「それとすでにロシアが開発している単極子砲があるというんだ。シリアへ接近したアメリカ空母がこれによってすべてのコンピューターシステムが破壊されてしまったというんだ。これによってシリアでのロシアの力が優位となったようなんだ。」

クマさん「へー、そんな便利な兵器があれば怖いものなしだなあ。ところで単極子ってなんだね。」

ご隠居「クマさんが棒磁石を持っているね。あれは半分に切ってもプラス極とマイナス極になるだろう。それが切っても切ってもプラスかマイナスの単極だという磁石があるととてつもないエネルギーが出せるそうなんだ。これは100年も前にテスラと言うアメリカの発明家がつくっているそうなんだが、アメリカではそうした研究が弾圧されてきたんだ。」

クマさん「ふ～ん、それでロシアは強くなったっていうのか。」

ご隠居「これはまだ確証ではない。ただシリアでの経緯ではロシアの戦闘機が接近した後、米空母が撤退した話や戦闘機、戦車の性能は米軍を越えていたという評価情報があるようだ。」

クマさん「だから日本はそうした防衛技術の研究開発をやるべきだというんだね。」

ご隠居「私が言うのは専守防衛の装置であり、人を殺すためのものではなく、日本に攻めてくるのは不可能ですよ、という技術を持って事実をアピールすることが専守防衛だ。改憲議論で国論が2つに激突する前に進めることが必要だ。」

クマさん「そりゃあ、おもしれ～けど武器開発だけで今後の日本を考えているわけじゃあね～んだろ。」

ご隠居「もちろんそうさ。外交力を高めることも重要だ。アメリカの言いなりになり、お金を貢ぎ美味しいワインを買い集めるのが外交ではない。先月オバマ大統領が安倍首相に電話でサミット前にロシア訪問を見送るよう話があり、安倍首相は断ったという話をしたね。いままでアメリカの申し出を断るなんていうことは前代未聞だと言う評価もある。だけど独立国であり、首相がどう動くかはそれぞれの判断だ、という単純なことではなかったわけだ。だって強国に逆らえば後での報復も怖かったからだ。」

クマさん「そりゃあそうだろうな。だけど安倍さんは怖くなくなったのか。」

ご隠居「というより十分理解を得られるだろうという自信があったんだろ。それに対ロシアでは平和条約締結と領土問題の解決と言う歴史的国益課題を自分が片づけたいという自負心があるからだろうね。それにオバマ氏の任期は間もなく終わる。自分はサミットを乗り越え、衆参同時選で多数を得て、長期政権を目指すという願望もあるし、これは譲れないなあと考えたんだろ。」

クマさん「だけど北方領土問題は、ロシア側はガードが堅いそうじゃあないか。」

ご隠居「それは私も否定はしないよ。しかし日本は中国との交渉にも戦略的互惠と言っているんだが、ロシアとの交渉はまさに戦略的互惠でいく必要がある。ロシアは経済制裁もあるが原油価格の低下があり財政的にも厳しいが、それ以上に地下資源に依存しない産業振興を果たしたいんだ。EUは制裁もあるがNATO拡大などもありいまいち信頼できない。中国ともそうだ。そうしたなかで自国の文化的風土を大切にしながらそのうえに近代的産業を発展させてきた日本が一番のお手本だし、のどから手が出そうに日本の技術導入を図りたいんだ。だからこそ戦略的判断が必要なんだ。」

クマさん「ああ、それで日本もロシアの天然ガスからとれるヘリウムがほしいと言った話を思い出したぞ。」

ご隠居「さすが、クマさん、よく覚えていてくれたね。半導体やCTスキャンなどの装置を作るためにはヘリウムが必要だが、アメリカのヘリウムはもう枯渇状態なんだ。シェールガスでは駄目なんだ。日本も海外へ市場をほしい所だが中

国経済が破たん状況の中で内需の余地があるロシアは有望なマーケットだ。そうした両国の国益の合致で信頼関係を作るんだ。そうした信頼関係が領土問題の解決の道だ。馬鹿の一つ覚えのようにただ返せ、返せの合唱では還るものも還らない。」

クマさん「なかなか辛らつだなあ、それでもね～か。それでもこれからの日本はアメリカとの安保条約があり、中国とも条約はあるがぎくしゃくしているし、そこへロシアとの友好を進めたらどうということになるんだらうね。」

ご隠居「私は日米同盟を否定するつもりはないし、むしろアメリカの方が手抜きをして自分の国は自分で守れ、という当たり前のようなことだがそうした方向で臨んできている気がするね。いまの大統領選での話も安保只乗りみたいな話も多いようだ。だから多極的な時代だからより多極的な外交が求められてくることは間違いない。ロシアとも戦略的互惠を基本にして相互の交流を深めることは日本にとっても有効だ。ロシア人は質朴で忍耐力があり、中国人より誠実だ。プーチンの政治思想は論文や演説等で強調されているのは人道主義だ。これはトルストイへの回帰だな。中国人の孫子の兵法のいかに相手をだまして出し抜くか、と言うよりもず～といいね。」

クマさん「なんだか、ご隠居さんも気に入っているな～」

ご隠居「私も年を取って、だましたりだまされたりはもう嫌だからな。人道主義なんて久々に聞くと新鮮に聞こえるんだ。」

クマさん「だけどインドネシアの新幹線では、中国とインドネシアに騙されてしまったなあ。」

ご隠居「日本の地質調査結果も横流しされたようだ。だけど大統領出席のもとで起工式までやったが、いまだ工事は着手されていない。だいたい工事許可が申請の5キロ分しか出ていないようだ。申請が出ないから許可が出せない、用地買収の見通しもない、鉄道の帰属も暗礁へ、だから予定の3年間では到底完成はおぼつかないだらうね。結局はフィリピンでの場合のように日本へ泣きついてくることも予想されるね。」

クマさん「中国本土みたいに1通の文書で鉄道を作るからそこをどけ、ていうわけにはいかんだらうからなあ。」

ご隠居「いま中国はマレーシア～シンガポール間的高速鉄道の建設の方に夢中のようにうだ。こちらの方が事業規模も大きく、経済効果、政治的効果も高いし、将来的な拡大の方向も見込まれるからだ。でもインドネシアでは当初は債務

保証が無しから保証を求め揉めているし、タイも中国との接続も拒否し自国資金で工事を行うこととした。ラオスへの延長も見送り、シルクロード構想もとん挫している。AIIB も自己資金不足でアジア開発銀行から5億ドルも借りることになった。中国は国内経済問題もあり、痛しかゆしなんだよ。」

クマさん「それでも南沙諸島では、滑走路、レーダー基地、ミサイル基地を作って唯我独尊ってわけで走って居る様じゃあね〜か。これはどうなるのかなあ。」

ご隠居「そもそも国際ルールでは岩礁は領土扱いできない。それを無理やり埋め立てて軍事基地化を推し進めているんだから何をかいわんやだ。だけどこれは一つにはアメリカが中国を甘やかすすぎたこと。二つには中国内部で軍部の発言力が強まり習近平主席もそこに依拠しているから後へ引けない。さらに中国はさっき言った第二列島線へ出て太平洋へ出て覇権を確立する野望だ。これらはアメリカが原因を作ってきたんだ。裏では容認していたかもしれない。航行の自由なんて言って艦船を送っているが形だけで、同じ日に米軍幹部が訪中して釈明しているから中国はなめている。」

クマさん「え〜、アメリカもそんな弱腰なんだ。アメリカに守ってもらっていると思っただんだがなあ。」

ご隠居「日米安保体制があり、だから日本も米国債を世界一買っているし、思いやり予算を5年で1兆円も貢いでいる。これを抑止力と言ってきたんだ。実際の戦争が起こったら米軍は引くだろ〜と言われてる。つまり今はにらみ合いが基本戦略なんだ。実戦ではベトナムで負けて、アフガニスタンで勝てずイラク戦争で財政破たん信用失墜し、最近ではウクライナやシリアでは財政支援や武器供与でけしかけ役だ。だから今は中国も含めて睨み合いはしても実戦は避けようとしている。技術的な観点でいえばオーストラリアがそうりゅう型潜水艦を12隻配置すればあんな貧弱な埋め立て地の施設なんか一瞬で瓦解させられる。空母だって潜水艦にはかなわない。」

クマさん「そりゃあスゲ〜もんだ。だからアメリカは日本の潜水艦とオーストラリアが同盟して当たればあんな岩礁基地はいつでも粉々にできるからお前らで同盟して当たれ、なんていったんだか。」

ご隠居「だから日本はますます難しい所に来ているんだ。いま日本は南沙諸島への監視行動をやれと言われてるが断っているんだ。これは憲法上の規制があるから他国へ侵出して軍事行動はできない。私はさっき言った専守防衛を基本として得意の分野である半導体レーザー砲などすべての武器の機能停止をさせてしまうような装置の開発を進めるべきだという説に共感してい

るんだ。そうすれば日本に侵略しようなんて国はなくなるだろう。」

クマさん「なるほど、日本は自分の得意技で勝負しようってわけか。そりゃ面白い。ぜひ進めて貰いて～もんだな。憲法改正なんて言っているよりそれでまずわが身を守ろう、ていう方が早いかもしれんなァ。だいたい、中国の経済状況は軍備拡張なんて言っていられね～だろ。」

ご隠居「そうなんだ。公害問題、高齢化に伴う医療・年金問題、巨額な財政赤字などを抱えて過剰なインフラ整備、過剰生産設備と在庫、過剰な住宅投資などがバブルとなっており破たん状態だ。いま中国共産党が一番恐れていることはソ連が崩壊したのも第13期経済5か年計画の時だ。今年中国全人代（共産党主軸の行政機構代表大会）で第13期5か年計画を決定したが、いつも満場一致に近いが今年は10%以上の反対があったんだ。また習近平は辞任せよという報道までされてしまい、体制維持のための報道などに対する締め付けが強化されているんだ。」

クマさん「へ～、あの習近平に不満が出始めているんかあ。」

ご隠居「トラもハエもたたく、とって江沢民派を中心に汚職追放を進めてきた王岐山ともすき間風が吹いている様だ。中央宣伝部にも毛沢東や鄧小平のような“核心的指導者”の称号を宣伝させようとしたが抵抗にあっている。それに過剰生産の企業のリストラを進めたいがストライキやデモなどが広がっていて共産党支配がこの13期5か年計画の間に崩壊するか、習近平が失脚する可能性も大きくなってきたような気がするな。」

クマさん「その中国も北朝鮮に対してはアメリカと歩調を合せて居る様なんだがどうな

んで。」

ご隠居「アメリカは北のミサイルやら核実験などで制裁では限度があるため、中国と折れ合って、北朝鮮と平和協定締結と引き換えに、核開発を抑制しようとしている。表向きではいま韓国とは4月末までかなり厳しい対北への軍事圧力をかけているが、北も負けずにミサイルを撃ち込んだりしている。これは話し合いの駆け引きのためのおどしあいであって、北朝鮮も中国も平和協定締結で米軍が韓国から撤収すれば願ったりかなったりだ。裏では米中は北朝鮮との6か国交渉を6月ごろ進める予定で話を詰めているという。韓国は事実上つまはじきだ。アメリカは韓国が昨年9月の抗日パレードへ参加して以来、韓国はうっとおしいから手を引く方向だ。中国も北朝鮮を崩壊に持ち込むわけにはいかない。米韓主導で南北統一も困る。だから米中の腹は朝鮮半島の非核化、中立へ持って行くことで合意している感じだ。」

クマさん「へー、それじゃあ、韓国は見放されたってわけかア。」

ご隠居「現実には日韓を含めた6か国協議で話しをするだろうが、米朝平和協定が締結されれば、朝鮮戦争での休戦協定は終わり、米軍が韓国に駐留する理由がなくなる。韓国はこの休戦協定の当事者になることを拒否していたから協定には参加できない。したがって朝鮮半島は非核・中立を表看板に米中の管理下に入ることになるだろう。」

クマさん「それじゃあ、拉致問題はどうなるんで……」

ご隠居「日本も小泉首相時代に戻って平壤宣言に盛られた平和条約締結を前提に調査再開、部分的には返還は進むだろうが全部ではない。どうしても隠しておきたい闇の部分があるからだ。」

クマさん「アメリカに見放された韓国はもう中国の言いなりになるだろうな。」

ご隠居「まあ、そういうことだがアメリカも朝鮮戦争では多数の死者を出しているが韓国は米中の間でいったり来たりで、ニクソン元大統領も『感情的で衝動的な韓国人に気を付けなければ』と言っていたそう。至極名言だ。最近も中国の言いなりが多かったからアメリカもさじを投げたんだろう。いま韓国の新聞は“オバマは広島へ行くな”とキャンペーンを張っている。」

クマさん「ドビンじゃ～あるめ～横からつべこべ口を出すなって！ニクソンの云う通りだ。あっしだってそう思うね。そうすると日本はどうなるんで。」

ご隠居「お～、クマさん得意のタンカが出たなあ。朝鮮半島が米中共同管理になれば、日本も北朝鮮との平和条約を締結し、経済交流だけは進めていけばいい。」

クマさん「ロシアとも平和条約が締結できれば東アジアは少しは静かになるのかね～」

ご隠居「そうなることを私だって望んでいるよ。問題は中国が経済的に厳しくなればなるほど対外的挑発に出る恐れがある。中国の軍部は共産党の軍事組織であり、独自に企業経営を多面的に営んでおり独立性が強い。これが尖閣列島や南沙諸島などの軍事基地を背景に東南アジアへの軍事的圧力を強める可能性は大きいため、これらの諸国との外交的な連携を密にする動きは強まるだろうし、日本の役割について期待も大きくなる。」

クマさん「ふ～ん、はやく中国共産党が崩壊して民主国家にならなけりゃ～しょうがね

～やな～。」

ご隠居「まあ、そうだが北朝鮮を見ても軍事独裁国家と言うのも簡単にはつぶれない。とくに中国は政府が崩壊しても地方軍閥が割拠して分裂する可能性が高いな。」

クマさん「う～ん、いろいろ聞いたんだがかいつまんでいえば世界はどうなるんで、そして日本はどうなんで～。」

ご隠居「まあ、そう問い詰められても私は予言者じゃあないからね。ズバリとは言えないが、まあ一口で私なりの受け止め方を言ってみようか。当たるも八卦当たらぬも八卦だ。」

クマさん「じゃあ、アメリカはどうなるんで。」

ご隠居「大統領選はトランプが勝つだろう。金融資本の支援を受けたクリントンも民主党の候補になってもウォール街が宣伝すればするほどトランプの方へ支援が広がっている。俳優だったレーガンの時もはじめは泡沫候補だった。トランプが勝てば TPP は仕切り直しになるだろう。」

クマさん「じゃあ、中国はどうなるんで。」

ご隠居「経済破綻が顕著になり、デモや暴動も広がり習近平の責任を問う声が広がり、ソ連のフルシチョフ首相の時もそうだったように共産党秘密会議で突然解任となる可能性が高くなっているらしい。」

クマさん「朝鮮はどうなんで。」

ご隠居「米中は、北朝鮮と平和協定の締結を進め、朝鮮半島を非核・中立地帯として管理する方向になるだろう。韓国も経済が破綻しふたたび IMF の管理下に入るだろう。」

クマさん「中近東はどうなんで。」

ご隠居「日露の経済交流が進み、天然ガスが入ってくるし、日本は独自にメタンハイドレードを採取しエネルギー問題は緩和する。原油に依存していた中近東の産油国は衰退する。米英利権の介入がなくなれば宗教対立は残るが、ロシア、イランとサウジ辺りの協調でほそほそ生き残りを図るのではないかな。もっとも不満分子を煽りテロを仕掛ける陰の勢力も残っている。」

クマさん「東南アジアはどうかね。」

ご隠居「ミャンマーの投資も進むしアセアンの結束は強まるだろう。中国の経済破たん

の影響を受けるだろうが、世界の下請けを中国から引き継ぎ発展するだろう。インドを含めて中国の圧力を次第に跳ね返すだろう。」

クマさん「日本はどうなるんだろね～」

ご隠居「安倍首相は、ダブル選挙は熊本地震への復興対策やらアベノミクスの不振から見送るだろう。消費税増税もパナマ文書による大企業等の脱税への批判から見送りしても参院選は与党3分の2確保は達成できず憲法改定も見送りだろう。しかし対中国包囲にむけた軍備増強は進めるだろうね。」

クマさん「ふ～ん、なんだかうまい話のようだなあ。ただご隠居さんがよく言う世界の本当の支配者だという国際金融資本家の話はどうなるんだね。」

ご隠居「ああ、陰で思うように支配してきた国際金融支配者がどうなるのか私も不明の点が多いが、簡単に言えば①ドル支配体制がペトロマネーの崩壊で危機的になった。②ロシア、ウクライナ、北アフリカ、中近東への介入もほとんど挫折した。③TPPも足元の米大統領選でみんな反対、日本も批准見送り、④BRICSへの介入もロシア、中国が離反、ブラジルも経済破綻などでうまみがなくなった。つまり陰の支配も思うようにいなくなってきたがまだまだ大きな力を持っているから今後も注意が必要ということだな。」

クマさん「じゃあ、ご隠居さんがいま一番気にしていることは何だね。」

ご隠居「いま一番気になるのは環太平洋火山帯の動きだ。バヌアツの地震、熊本地震に表れる中央構造帯、さらにアリューシャン列島、アラスカ、サンフランシスコのバンアレン帯活断層、エクアドル大地震など南米太平洋岸と続く馬蹄形の火山帯とそれを動かす太平洋プレートなどの動きが大変活発になってきたことだ。これにより南海プレートの動きも早まるという研究データが発表されているんだ。日本列島がマグニチュード9クラスの巨大地震が南海、東海地震だけでなく、富士山噴火、関東直下型地震などが連動して起こることになれば日本の政治経済は壊滅的打撃を受けることになる。これは地球のエネルギーの周期的な宿命であり、特に浜岡原発の大事故が起これば避難の使用がなくなるな。逃げようがない災難だ。」

クマさん「え～、それじゃあ中国や韓国がどうのこうのって言っている場合じゃあね～なア。」

ご隠居「そうなんだ。私もこんなことを言ってクマさんをおどかしたいわけじゃあない。こうした宿命的なことは逃げ出したいなら地震のない国を探して脱出するしか手はない。だから宿命は受け入れて地球のエネルギーの放出ができるだ



け小さくなるようみんなで祈るしかない。万一放出があっても極力人災の少ない様十分の備えをすることを訴えるしかない。そのうえで死ぬようなことがあるならせめて人間を卒業して安心立命の国に住めることを願うしかない。」

クマさん「ありゃ、ご隠居のような年寄りはそれでもいいんだろうが、あつしら女房子供を抱えているんで、そんなさとりすましたようなことをいっちゃあいらね〜ぞ。」

ご隠居「そうだろうね〜だけどそれが大自然の摂理なんだから人間が逆らうことはできない。そういうことがありうるんだということを肝に銘じてしっかり生きていくことが大切だ。災害がなくても人間は死亡率100%なんだ。いつかわからないからこそ生きて居られるんだ。だから家族を大切にしながら地域の人たちとも仲良くしながら1日1日を大切に生きることだな。」

クマさん「あ〜あ、気が滅入ってきたなあ。ウチへけえって一杯ひっかけて寝るとしようかなア」

ご隠居「いいかね、クマさんも地域の防災委員だよ。いま何をしなくてはならないのか。何をしたらよいのかをよく考えることが大切なんだよ。」

(2016, 4, 29)

\* 参考

主にインターネットでしか知られないたくさんの識者の情報がニュースソースです。疑問に思うことがありましたらご連絡ください。(m-sazuka@po.dws.ne.jp)

## 談義 その18 ホントのこと

クマさん「ご隠居さんいるかァ まだくたばっちゃあいね～んだろうな。」

ご隠居「ばかに意気込んでいるようだなあ。また何かわからんで迷ってきたんだな。」

クマさん「ユーレイじゃアあるめ～迷って出てきたわけじゃアね～が、最近ご隠居さんの話を聞いているとわけがわからなくなっちゃってよ～もう一度聞きなおしてみて～なァと思ってきたんだ。あんまいい加減なことを言ったらただおかね～ぞ。」

ご隠居「まあ、怖いことを言うね～、でもまあ私の云う事なんぞいいかげんだよ。それでクマさんがいろいろ社会のことなんぞ考えるきっかけになるならありがたいことなんだ。ところで意気込んできたわけは何だね。また奥さんとケンカしたってほどのことじゃあないようだが。」

クマさん「いや、うちの力カアに“オイ、世界はもうつぶれるぞ。だから今のうちに飲めるだけ酒を飲んでおいたほうがいいかなあって言ったもんでどやされてしまったんだがね、イヤ、今日来たのはそんなことじゃあね～や。ご隠居さん、いって～本当のホントのことってなんだかね。」

ご隠居「本当のことって、クマさんが言うのは真理とは何か、ということかね。クマさんは真理とはどんなイメージなのかね。」

クマさん「そりゃ～、絶対的に正しくて永久に変わらね～ようなものじゃあね～のかな。」

ご隠居「いや人間がこれまで真理と考えてきたことはみんな変わってきているんだよ。昔は地球の周りを太陽や月が回り、星は天に張り付いていてそれが回っているのが不変の真理であった時代があった。地動説を唱えてはりつけになった人もいた。」

クマさん「だからそうした時代によって変わってしまうようなものは真理じゃアね～んだ。たとえばあつしらの住んでいるこの宇宙のように絶対不変のもので、そうし

た真理によって人間が絶対に信じられるようなことがらだ。」

ご隠居「この宇宙だっていつかはなくなってしまうんだよ。もちろん地球だって無くなってしまふ。そうした地球に住んでいる人間が信じている真理とは信じている人によってみんな違っているんだ。」

クマさん「え～、冗談じゃあね～や、真理が人間の数だけあったら真理じゃあね～や。ところで宇宙も無くなるってどういうことだね。」

ご隠居「クマさんも学校で宇宙ができたのはビッグバンだと教わったことがあるだろう。」

クマさん「そーいや～始まりは小さな豆粒より小さなモノが爆発して今の宇宙ができたと言ってたかな。」

ご隠居「10のマイナス34乗より小さな素粒子が爆発して宇宙ができたと聞いて私もびっくりしておかしいなあと長年思ってきたんだ。そんなに膨張するはずがない。これは宇宙を観測していると遠い星ほど早く遠ざかっているという観測結果から逆算してももとは一点に集中して極微粒子から始まったと考えられたんだ。しかし東大の佐藤教授らは計算の結果、宇宙のタネは無の世界からポトリと出て、それが無のエネルギーを得てインフレーションを起こして膨張したというわけだ。」

クマさん「ふ～ん、宇宙はあの世から生まれたようなものかア。」

ご隠居「さすがクマさん、察しがはやいね。いま私たちが住んでいる太陽系は銀河系の一部であり、2000億個もある銀河が銀河群を形成し、さらにそうした群が銀河団、超銀河団を形成し、それらが六角状につながってグレートウォールを形成していることが観測されているんだ。」

クマさん「へー、大家の垣根は板塀だ。」

ご隠居「ちやかしている場合じゃあない。この宇宙の成立を計算していくと我々の宇宙のほかにも無数に宇宙はできているそうなんだ。私も無限の世界でたった1回だけポトリと宇宙ができる方が信じられなかったね。いや今だって我われの宇宙の外にも宇宙がいっぱいあるなんて話を信じられない人の方が多いんじゃないのかね。」

クマさん「だから真理は一つじゃあね～って言いたいんだかね。じゃあご隠居さんはこの宇宙はどうしてできたと信じているんだね。」

ご隠居「永遠無限の無の世界が絶対の世界であり、そこには時間もないがあらゆる情報が詰まっている場なんだ。そこではプラスとマイナスのエネルギーが揺

らいでいる。そこからあるゼロ点(電磁波がトンネル効果で半導体を通過するようなイメージで)を通して噴射してこの物質宇宙を形成したんだ。けっしてビッグバンのように1回の爆発ではない。噴射したエネルギーが大きな渦を作り広がりその過程でまた渦ができていく。爆発の場合は花火を見てごらん。周辺へ火花は飛び散って中心は何も残らない。宇宙が爆発で膨張するエネルギーから太陽や地球が生まれたならみんな膨張しなければならない。銀河系もアンドロメダ銀河も膨張でどんどん離れていかななくてはならないが逆に接近している。銀河同士がくっついてしまう天文観測もある。そうした揺らぎの渦がグレートウォールを形成し、銀河や太陽系が生まれていくんだ。それを発見したのがアメリカの若い女性天文学者だ。」

クマさん「そりゃあ、見上げたもんだ。出初のはしご技。」

ご隠居「またまたダジャレだな。だいたい宇宙がビッグバンの爆発でできたらシュワルトシルトの法則で一定程度で収縮してしまうんだ。ところで我々の宇宙には時間と言うものがあるんだが、この時間と言うのは何だかわかるかね。」

クマさん「えーと、時計の針を見ていりゃあ時間が進んでいるのは分かるなあ。」

ご隠居「じゃあ、時計が止まったら時間も止まるのかね。時間の目安は地球の自転や原子の崩壊時間などを基にしているんだが、その時間の経過がなぜ進むのかだれも説明できない。」

クマさん「じゃあ、ご隠居さんはどう考えているんだね。」

ご隠居「私の師匠ともいべき人は、この宇宙にエネルギーが噴射して回転を始めたのが時間の始まりだ。太陽系も回転しているんだが太陽系の回転の速さが太陽系の時間の推移なんだ。」

クマさん「じゃあ、太陽系がなくなったら時間もなくなるのかね。」

ご隠居「もちろんそうだ。クマさんが光の速さで太陽系から外の宇宙へ行って帰ってきたら若返っているだろう。時間のスピードはおかれた状態でも異なるんだ。」

クマさん「う～ん、浦島太郎も別の世界へ行ってきたんだな。あつしもいじめられている亀に出会ったら助けてやるとしようかな。」

ご隠居「浦島太郎は光の速さで別の世界へ行ったのではなくて、時の経つのも忘れられるくらい楽しい世界へ行っていたんだらう。この宇宙も噴射された無のエネルギーが失われる時が来たら消滅する。その時には時間も無くなる。恒星が自己の重力で収縮してブラックホールになってしまえば時間もなくなる。」

クマさん「ああそうか、ブラックホールになったエネルギーが別のところで噴射すると新しい宇宙や星が生まれたりするんだらう。」

ご隠居「お～、クマさんも大したもんだ。そうした説をホーキングという世界的な天文学者も言っている様なんだな。クマさんも天才的ひらめきだなア。」

クマさん「えへへへ、おだてとモッコにやあ乗らね～よ。だけどその真空のエネルギーとか無のエネルギーってのはいって～どんなものなんだかね。」

ご隠居「物理学では真空をつかってそこへガンマ線を照射するとプラス、マイナスの電子や素粒子が飛び出すというんだ。つまり真空状態でも何かのエネルギーや素粒子が発生したり対消滅したりして揺らいでいる状態だというんだ。その真空状態が虚数の世界が無の世界であり、絶対の無限世界だというわけだ。」

クマさん「なんだか坊主のお説教みたいな話になってきたなあ。」

ご隠居「それは般若心経にある“空即是色、色即是空”のことを言っているんだらう。むかしの厳しい修行を積んだお釈迦さんの様な人たちが直観的に宇宙のことを達観したんだらうね。あるいは体外離脱をして宇宙の成り立ちを見てきたのかもしれないぞ。」

クマさん「え～、あっしは坊主が嫌いでお釈迦さんもホットケなんていってばあさんによく叱られたっけ。」

ご隠居「いろいろよく考え抜いた人たちは、クマさんが知りたがっていた真理を達観していたんだ。たとえばギリシャ時代のヘラクレイトスは“万物は流転する。”といい、哲学者カントは“すべての力は渦だ”と見抜いていたそうだ。日本の中村天風という人はインドでヨガの修行を行い“極微粒子＝気がすべての創造の元であり、西洋ではエーテルと言ひ、東洋では靈気といった。いずれにしてもこのただ一つのエネルギーを生み出す元が宇宙を創り出したのである。”と言っている。」

クマさん「ふ～ん、えれ～人たちは見えね～モノをじっくり考えて真理をさぐっていくんだなあ。あっしなんか見えるモノ、触れるモノしか信じられね～んだがなあ。」

ご隠居「それは今の科学者たちだって同じだ。実験結果で確認できなけりや信じられない学者もいっぱいいる。最近では微量要素による実験には信じない人間が多くいるとその実験はうまくいかない場合がある。たとえば世情をにぎわせた小保方さんの STAP 細胞も否定意識者の立ち合いの実験ではうまくい

かない場合がある。アメリカではこの STAP 細胞の実用化を進めているんだ。」

クマさん「え～、なんだかスプーン曲げの話みて～だな。あの時も信じているやつがテレビを見ながら一緒にやると曲がり、信じられないやつがいくらやっても曲がらね～もんでインチキだ、と宣伝した。」

ご隠居「素粒子物理学でも、電子の軌道を測定しようとする位置がわからなくなり人間の意識が電子に影響するため不確定原理という説が生まれたんだ。だからアインシュタインは“神様はサイコロは振らない。”と言ったが現在では素粒子物理学の方が勝ったことになっている。」

クマさん「あっしだって、マージャンをやるとき、気に入ってパイを振るといい目が出るのがあったぞ。」

ご隠居「電子が波なのか粒子なのかの論争があり、電子を一個ずつ飛ばして2つのスリット(立て穴)を通過させると干渉縞ができることから波でもあり粒子でもあるということになったんだ。しかし、その後素粒子での実験では素粒子が人間の意識を感知して変化することがわかってきたんだ。このため、この世界は人間意識がつくりだしている世界ではないかということが言われているんだ。」

クマさん「へー、あっしがご隠居さんを見るとあっしの意識がご隠居さんを創りだしているのかな。あっしがいなくなったらご隠居さんもいなくなるんか。」

ご隠居「まあ、クマさんが外へ出て私のことを考えなくなればクマさんの世界には私は存在しないことは確かだ。そしてまったく私のことが意識されなくなればクマさんは私のいない世界で生きていくことになるんだ。これは最近の説でパラレルワールドと言って意識の分離によっていくつもの世界が生じることになるんだ。電子が波動でもあり光の速度で動いているんだが、素粒子の世界ではその何百倍もの速さで飛びまわっているんだが、波束の収束といって遠くの星の光も分散しているんだが観測するとき光の波が粒子となって収束するから星として見えるんだ。こうした理論や実験を基にしていまや量子コンピュータも生まれているんだ。」

クマさん「するって～と、いまにあっしが心で思ったとおりのことをやるコンピュータを持ったロボットができるかもしれね～な。」

ご隠居「自動車を自動運転する車ももう実用化されはじめているんだ。クマさんの云うロボットも研究されはじめているんだよ。」

クマさん「レレレのレ～、ありやま～、なんとも大変なことだナア。この前のあの世の話にも驚いたけど、今日の話もびっくりポンだあ。いいかげんな話じゃあね～んだろうな。」

ご隠居「まあ、はじめに云った通り宇宙は無であり、われわれの宇宙もいつかはなくなるんだ。そのまえに地球の寿命も尽きるし、人間も転生輪廻の学びも終わるときがくる。そうなった時が仏教でいう本当の涅槃かも知れないね。霊魂と言うのは重力波であり、生命波ともいわれ普通の電磁波ではないから直接通信はできないんだ。しかし重力波が送られる時に電磁波が付随するのでその影響が感じられたりする場合があるようだ。たとえばテレビで映像や音声を送るとき搬送波に乗せて発信して受信する場合に搬送波と分離して映像や音声波動を見聞きすることができるんだがそれに類似したようなことが行われていると推定されているんだ。これはテスラコイルという装置を使って生命波動を作り微生物や虫などを殺傷したりする実験も行われたんだが公認はされていない。」

クマさん「またまた難しくなってきたぞ。またあの世の話かね。あっしはまだこの世に未練がいっぱいあるんでこのへんにしてもらいて～んで。」

ご隠居「まあ、いずれはみんな死ぬんだ。それまではやはりお互いいろいろ学ぶことが大切だ。私の話を信じなくてもいいから変だなあと思ったら自分で調べたり、考えたりしてもらえば本望だよ。まあ、そんな次第でまた話をしようじゃあないか。」

クマさん「なんだか、また煙に巻かれたような気がしてきたぞ。まあ、この辺でドロン、パアと消えるとするか。」

ご隠居「まあ、またおいで。おいしい新茶とかしわ餅でも用意しておくよ。」

(2016, 5, 9)

\* 参考 「波動性科学入門」(大橋正雄)

<閑話休題> 「18歳」と「81歳」のちがい

- 道路を暴走する18歳、道路を逆走する81歳
- 心がもろい18歳、骨がもろい81歳
- 偏差値が気になる18歳、血糖値が気になる81歳
- 受験戦争を闘う18歳、アメリカと戦った81歳
- 恋に溺れる18歳、風呂で溺れる81歳
- 人生を知らない18歳、人生を知りすぎた81歳
- 記憶に磨きをかける18歳、記憶にボヤキがかかる81歳
- 東京オリンピックへ行きたい18歳、それまで生きたい81歳
- 自分探しに迷う18歳、自分の居場所に迷う81歳
- “嵐”というと二宮和也を思いだす18歳、嵐寛寿郎を思いだす81歳

\* 同じ思いの60代、70代

<クイズ>

- ◎ 友人が駐車場に車を入れました。何番へ入れたのでしょうか。

(シンガポールの小学生が考えたクイズです。)



I 6	06	68	88	?	98
-----	----	----	----	---	----